

◆獲物のあるビオトープのいま◆

「ビオトープ・イタンキ」は2011年4月に造成を終え13シーズンを経過しました。3年ほど続いたコロナ禍も収まり、2023年からは自然体験学習などの活動も通常通り行えるようになっていきます。

ビオトープは、中心部の草地、それを取り巻く水路、さらに外側の植樹帯と、狭い範囲ではありますが、いくつもの特徴的な生態系が組み込まれています。植樹帯は海岸林の再生を目指して、この地方の海岸林を構成する潮風に強い樹種の実生苗を育成して植樹してきました。潮風最前線への定植は2005年にスタートし、初期のものは5m以上に育ち、カシワ、ミヤマハンノキ、エゾノコリンゴなどの「小さな林」が出現しました。

新たに生まれた林床にはフクジュソウ、エンレイソウ、エゾエンゴサク、ナニワズ、カタクリ、ムラサキケマンなど多くの林床植物の導入・増殖を進めていますが、現在は林床へのイワミツバの侵入が深刻化しています。2017年頃からエゾシカの食害も目立つようになり、厄介な問題になりつつあります。

大勢の子ども達が嬉々として魚や虫を追う「獲物のあるビオトープ」での自然体験学習は、子ども達の目を「自然界」に向けさせ「科学」へと導く大きな力になると考えていますが、児童数の減少、学校の統廃合の影響を受けて、授業としての来訪数が伸び悩んでいます。

ビオトープに関する活動は全国的に様々な活動が行われていますが「獲物がある・・・」と謳って自由に採取できるビオトープの例はありません。これからも子ども達の心に残るビオトープの活動を続けていきたいと思っています。

◆お願い◆

＜黄色いレシート運動に参加しています＞

「イオン室蘭店」では、毎月11日に黄色いレシートを発行しています。1階に設置している市民団体のポストにそれを入れることで、そのポストに入ったレシート金額の1%が、その市民団体の活動に寄付される仕組みになっています。毎月11日に「イオン室蘭店」での買い物の際には、黄色いレシートを「ビオトープ・イタンキ」のポストにお願いいたします。



NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭

室蘭市輪西町2丁目12-5 理事長 大西 勲 TEL 090-8637-8725
E-mail : kitanoruri001@gmail.com <http://biotop-itanki.jpn.org/>